

第10回症例検討会 アンケート結果

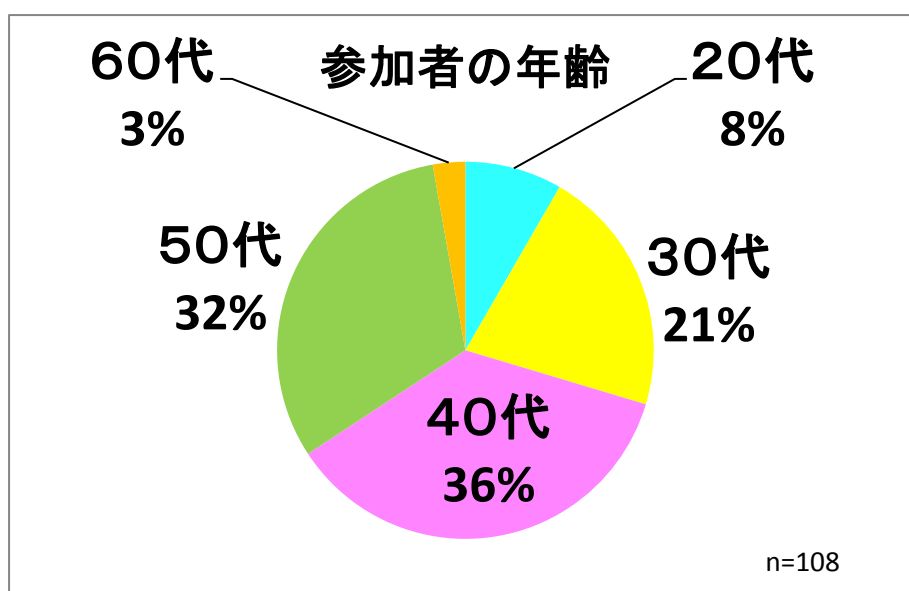
2011年6月16日 (木)

参加者 169名 アンケート回収数 108 アンケート回収率 64%

I あなたについて

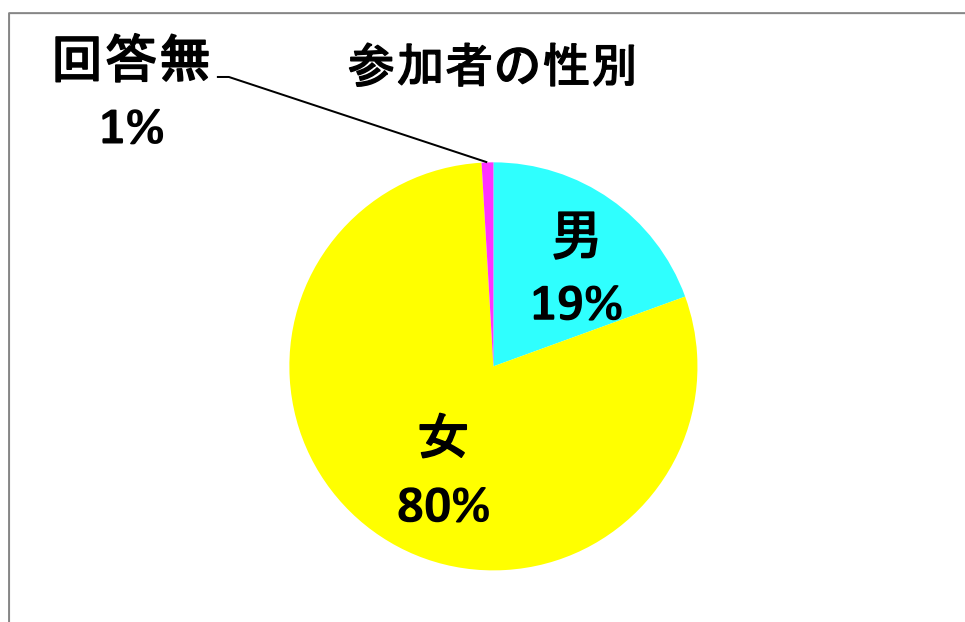
【年齢】

20代	30代	40代	50代	60代	回答無
9人	23人	39人	34人	3人	0人



【性別】

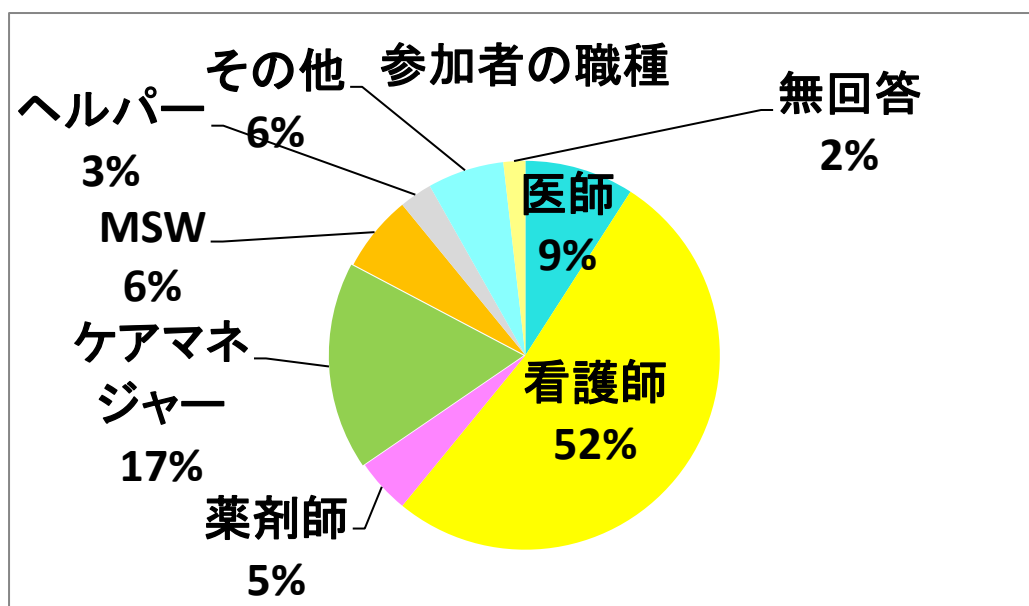
男性/21名 女性/86名 回答無/1名



【職種】（複数回答有）

医師	看護師	薬剤師	ケアマネジャー	MSW	ヘルパー	その他	無回答
10	57	5	19	7	3	7	2

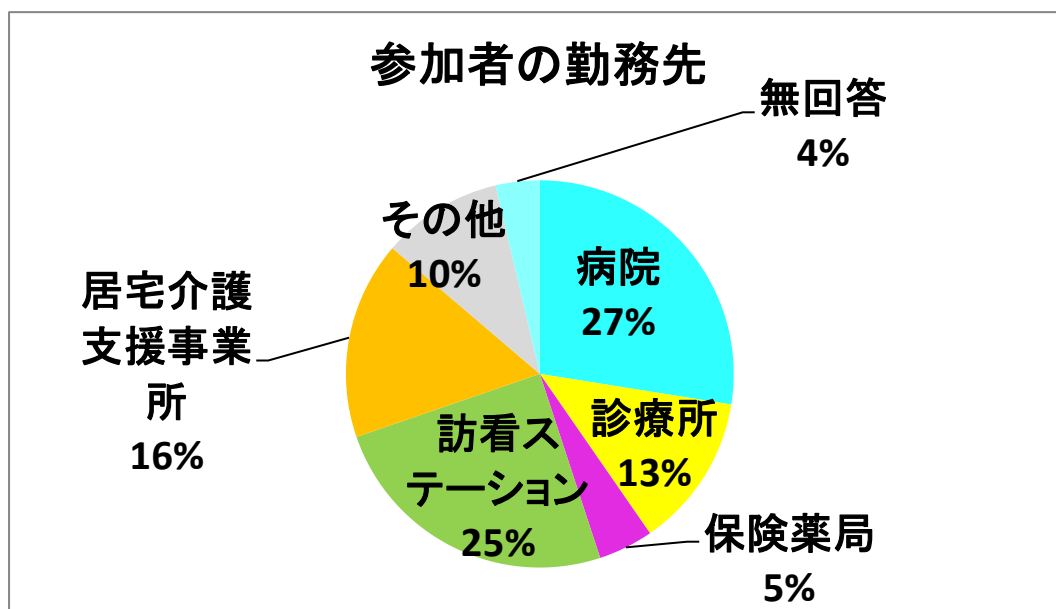
※その他の職種の内訳（介護福祉士・保険師・介護職・OT・事務）



【勤務場所】（複数回答有）

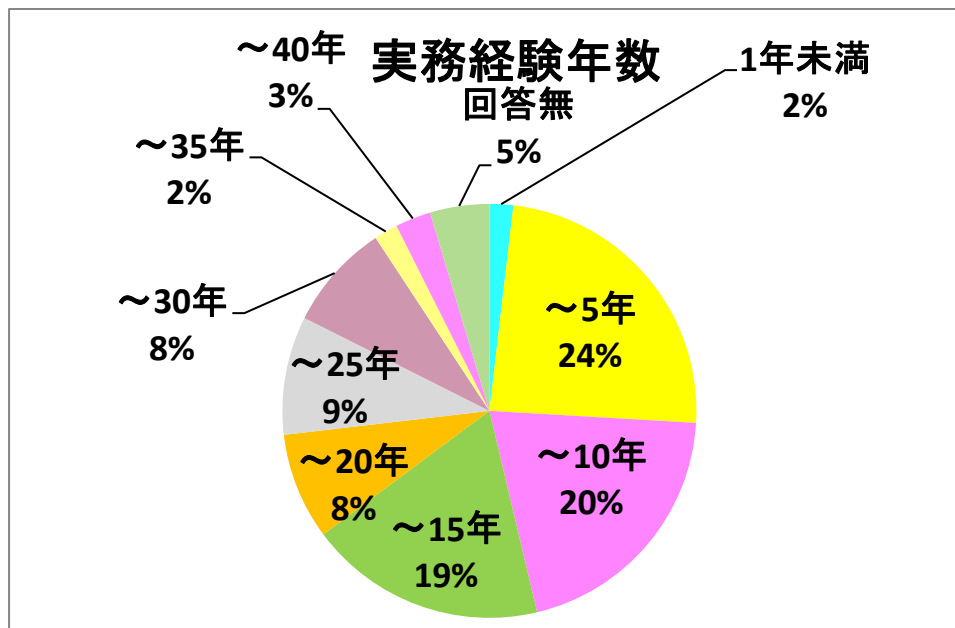
病院	診療所	保険薬局	訪問ステーション	居宅介護支援事業所	その他	回答無
30	14	5	27	18	11	4

※その他の勤務先の内訳（包括支援センター・訪問介護事業所・通所介護・認知症対応型共同生活介護）



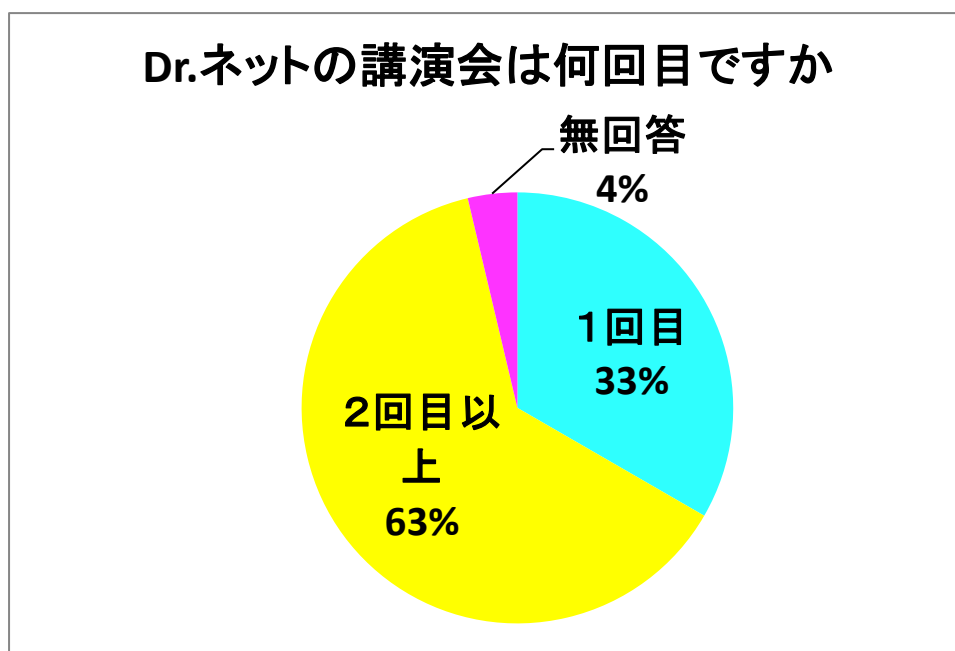
【実務経験年数】

1年未満	～5年	～10年	～15年	～20年	～25年	～30年	～35年	～40年	回答無
2	26	22	20	9	10	9	2	3	5



【Dr.ネットの講演会は何回目の参加ですか】

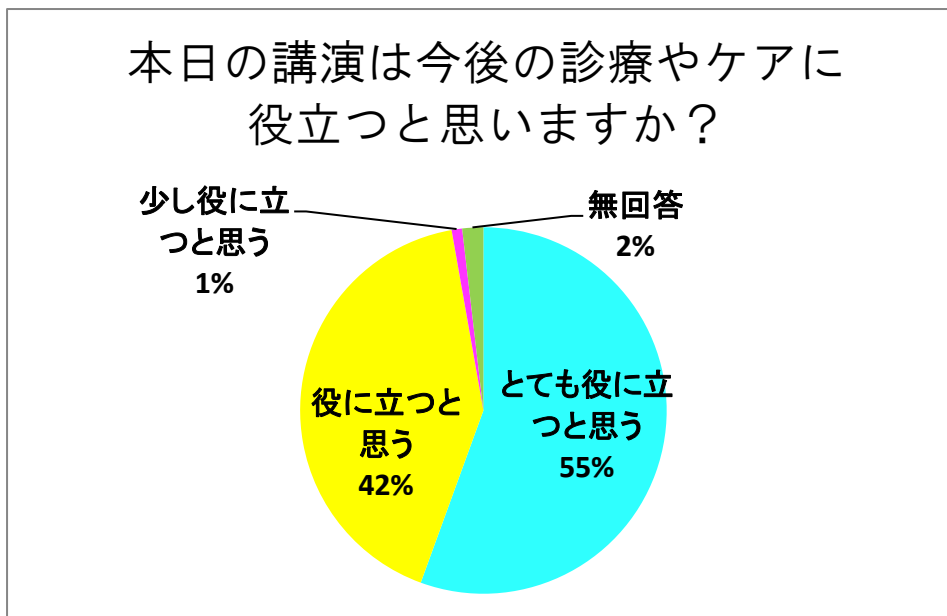
1回目/36名 2回目以上/68名 回答無/4名



【講演について】

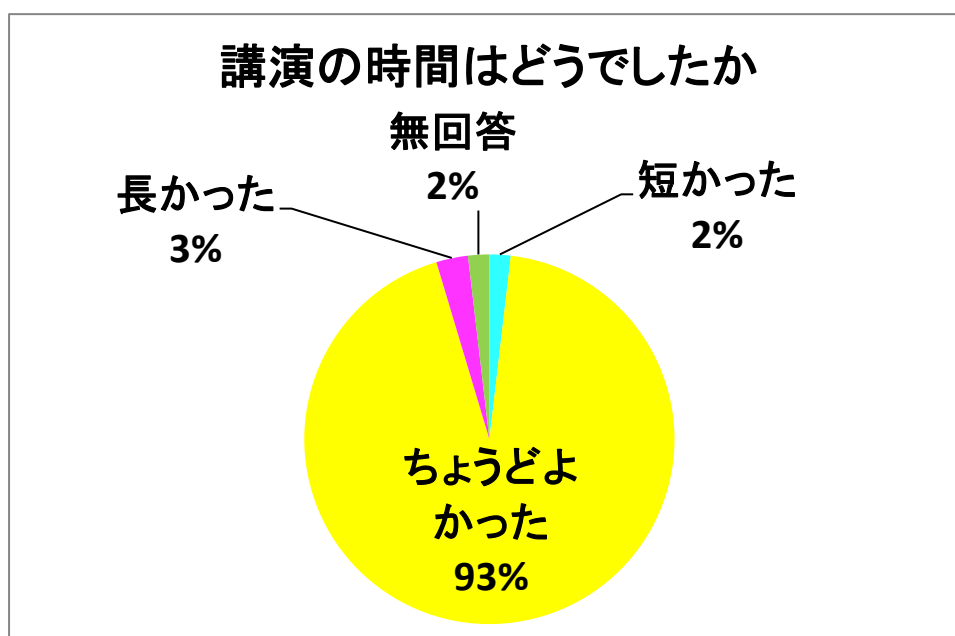
本日の講演は今後の診療やケアに役立つと思われませんか。

とても役に立つと思う	役に立つと思う	少し役に立つと思う	あまり役に立たないと思う	役に立たないと思う	回答無
60	45	1	0	0	2



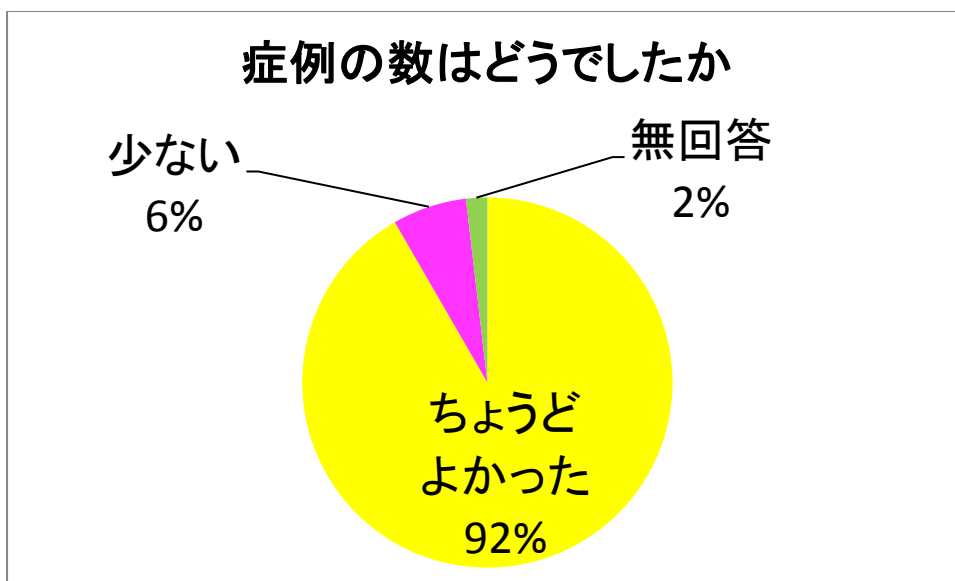
講演の時間はどうでしたか

短かった	ちょうど良かった	長かった	回答無
2	101	3	2



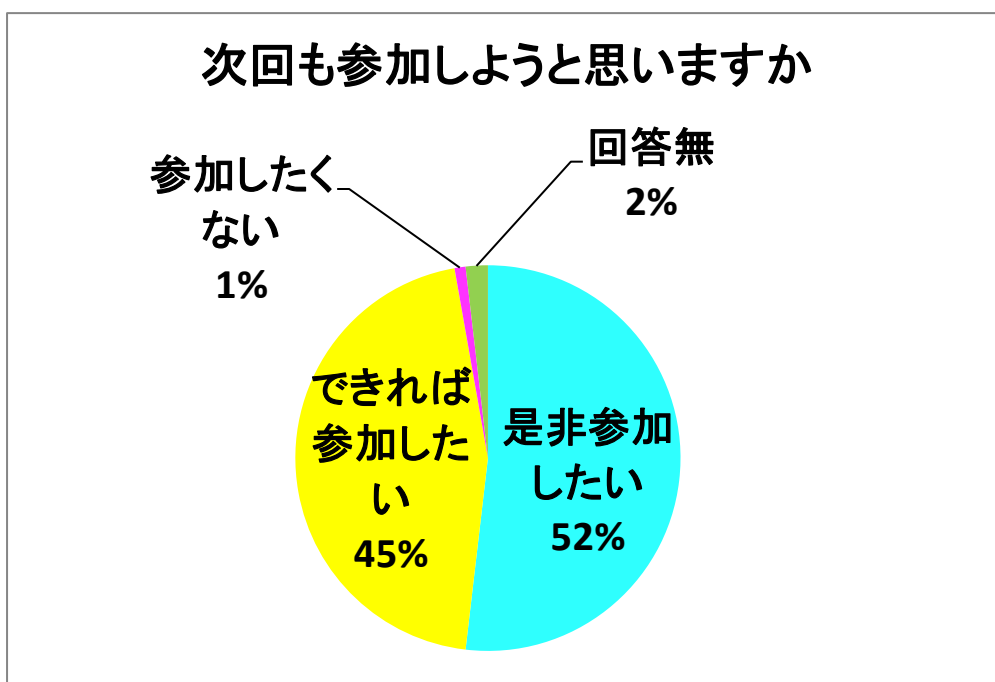
症例の数はどうでしたか

多い	ちょうどよかった	少ない	無回答
0	99	7	2



次回も参加したいと思いますか

是非参加したい	できれば参加したい	参加したくない	回答無
56	49	1	2



<扱ってほしいテーマ>

- ・スピリチュアルベインへの対応。精神症状のコントロール、話の聞き方、感情表出させる方法
- ・希死念慮のある患者さんの在宅移行について
- ・インシデントなど
- ・地域で生活することの意義、在宅介護の現状
 - 対象者の属性（性別・年代・居住地域・疾患・・・など）
 - 介護度、利用サービス、医療必要度、対象者の日常、介護者の日常、対象者・介護者が困っていること、要望、満足している事など
- ・若年でターミナルになった方（できたら 30 代）の看取りについて勉強したいです。
- ・摂食・嚥下障害などに対するリハビリ・口腔ケア
- ・在宅での麻薬の処方の方法
- ・患者本人だけでなく家族のフォローについて、手法、話術、コミュニケーションなど
- ・IVH 管理について、胃ろう管理について、栄養管理について
- ・認知症について（在宅での）
- ・病院連携室の実情、入院中・在宅移行に関してどう関わっておられるのか知りたい。その上で、連携の重要性を再認識・確認したい。
- ・訪問診療における Dr.、訪看、ケアマネの連携について
- ・長期化する介護と老々介護への不安や実際の症例について
- ・指導効果のない家族への対応

<話を聞いてみたい講師>

- ・長大緩和ケアチーム 臨床心理士 楠本さん
- ・中根 Dr. 木下裕之 Dr.
- ・長崎在宅 Dr. ネット（在宅医の視点）、訪問リハ（リハの視点）、利用者・介護者代表（当事者の視点）、訪看ステーション（看護師の視点）、居宅介護支援事業所・地域包括支援センター（保健師・ケアマネの視点）
- ・角町正勝
- ・セラピューティックケア 理事長
- ・中尾 Dr.（長与町）、訪看なるみ松島由美所長
- ・藤井 Dr.・白髭 Dr.

<やってみたい方法>

- ・グループワーク
- ・シンポジウム形式

<その他>

- ・先生方の話を聞ける場所は他にないので今回とてもよかったです。ありがとうございます。
- ・講演された方々、準備された方々お疲れ様でした。有意義な時間がすごせました。
- ・事例検討を多くしてもらいたい。勉強になりました。
- ・先生方や他職種の方の生の声が聞けて毎回楽しみにしています。ありがとうございました。